

平成30年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業計画

1 基本方針

当公社は、平成30年度も引き続き水族に関する知識の普及及び啓発並びに水族館の効率的な管理運営に努め、市民等の健全な余暇の活用や観光振興に資する施設として利用されるよう取り組んでまいります。

水族展示については、ジンベエザメの展示再開に向けて全力で収集に取り組み、早期搬入に向けた準備を進めるとともに、新コーナー「鹿児島の深海」における新規生物展示の充実に取り組みます。また、明治維新150年に合わせ、明治時代に発刊された鹿児島の魚類図鑑である「^{げいかい}甕海魚譜」にちなんだ特別展示や、当館が蓄積してきた錦江湾の生物や自然、環境データなどさまざまな資料を基に、情報提供システム「錦江湾情報 BOX」の構築も新たに行います。

イルカについては、館内のイルカプールやイルカ水路での安定的な展示を目指すとともに、イルカ水路の展示エリア拡充を目指すほか、他館や大学等研究機関と連携しながら、これまで以上にイルカの自然・人工繁殖を推し進めてまいります。

次に、学習交流活動につきましては、これまで培ってきた生涯学習プログラム等の更なる充実や、国際サンゴ礁年2018 オフィシャルサポーター協力事業に合わせ、サンゴ礁生態系の価値やそれを取りまく脅威について子どもから大人まで様々な年齢層の方が楽しく学べる学習プログラム等を提供してまいります。

来館者誘致に対する取組としては、修学旅行団体の誘致を目的とした他施設団体等との共同セールスを継続するとともに、明治維新150年に合わせ、関連施設と旅行代理店訪問等を行い、当館に立ち寄っていただけるよう積極的にPRしてまいります。その他、FIT（海外個人旅行者）の取り組みとして、QRコードを活用した決済システムを導入するなど海外旅行者の利用促進を図ります。

このほか、施設の良い維持管理のため、引き続き日々の保守点検を確実にを行うとともに、施設の長寿命化を図るため、鹿児島市と連携してストックマネジメントに取り組みます。

なお平成30年度は、当館が加盟する（公社）日本動物園水族館協会の通常総会が鹿児島市で開催されることから、開催担当館として円滑な運営に努めてまいります。

2 事業内容

(1) 公益目的事業

1) 自主事業（公1）

体験型スクールや広報誌の発行及び水族の保護・保存のための調査研究を通して、広く水族の知識の普及及び啓発を図る事業

- ① 水族館スクールの開催
- ② ニュースレター「さくらじまの海」の発行
- ③ 水族館ボランティアの充実
- ④ 錦江湾鯨類調査
- ⑤ ジンベエザメ回遊経路追跡調査
- ⑥ サツマハオリムシなど錦江湾の深海生物に関する調査等

2) 受託事業（公2）

鹿児島市から管理受託するかごしま水族館の管理運営を行い、もって水族の保護及び水族に関する教育文化の振興に寄与することを目的とする事業

① 水族館の管理運営

- ア 展示及び運営の企画実施
- イ 展示する水族の収集、飼育、保管に関する調査
- ウ 体験型学習事業の実施
- エ 水族館の敷地、建築物及び付属設備等の維持管理
- オ 入館料の徴収及び鹿児島市指定金融機関への払込み
- カ イルカ水路でのイルカの常設展示に向けた取組
- キ 他園館との交流連携を活かした取組
- ク 環境管理事業所としての取組の推進

② 広報宣伝事業

- ア テレビ・ラジオスポットなどメディアを活用した広報
- イ 幼稚園・保育園訪問及び小中学校へのイベント広報
- ウ 観光客・教育旅行誘致のための県内外旅行代理店及び学校訪問
- エ 東アジアからの観光客誘致のための宣伝活動
- オ 電照広告看板等による広報
- カ 平川動物公園・知覧特攻平和会館等との連携
- キ ホテル・旅館や各種交通機関との提携
- ク ドルフィンポート等周辺施設との提携

(2) 収益事業

公益目的事業の推進及び入館者の利便を図るため、売店や自動販売機等を設置し、運営する事業

- ① アミューズメントショップの運営
- ② 自動販売機の運営や特割チケットの販売等